

けんろく茨城

ARCHITECTURE IBARAKI 2020.6 VOL.103



一般社団法人

茨城県建築士会

<http://i-shikai.com>

けんちく茨城

2020.6.15 第103号

page	目次
01	令和2年度 通常総会開催される
02	令和2年度 新役員一覧・事業計画
03	報告 牛久市との空家等対策の推進に関する協定
04	建築作品紹介 牛久運動公園 武道館
06	TOPIX 応急危険度判定コーディネーター訓練に参加して
08	先輩会員をたずねて
10	ようこそフレッシュマン／Welcome Freshman!!
	支部活動報告
13	久慈支部 常陸秋そばフェスティバル
14	県央支部 県央支部ボウリング大会を開催 ノートルダム大聖堂・首里城正殿の 火災から学ぶ文化財の防災
16	土浦支部 ベンチデザイン募集・第2弾 ～土浦のまちに置くベンチ
17	筑波支部 筑波支部活動
	委員会活動報告
18	女性委員会 わくわくセミナー 「わくわくセミナー企画会&新年会」 「パソコン・IT・ホームページ講座」 ラブアークセミナー 「令和2年度 ラブアークセミナー企画会 開催」
題字	大井川 和彦 茨城県知事
表紙	牛久運動公園 武道館 計画・監修 牛久市 建設部 建築住宅課 設計・監理 株式会社若柳建築事務所
発行	令和2年6月15日
次回	令和2年10月5日予定
部数	2,200部
発行	一般社団法人 茨城県建築士会 会長 柴 和伸 〒310-0852 水戸市笠原町978-30 建築会館2F TEL.029-305-0329 FAX.029-305-0330 E-mail kyy05413@nifty.com
編集	情報・広報委員会 市毛 純一 川又 晴彦 児玉 欽司 成田 孝成 大山 早嗣 武居 公江 浅野祐一郎 石黒 幸喜 塙 万治 軽部 守彦 沢畑 一成 山田 一博 中村 正明 谷島 正憲
デザイン・印刷	株式会社 高野高速印刷





令和2年度 通常総会開催される

令和2年5月29日(金) 午後2時
水戸プラザホテル
報告：総務・企画委員会

令和2年度の通常総会（第69回）が5月29日(金)水戸プラザホテルにおいて開催された。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に、会場と時間も変更し、また、会員の皆様の健康と安全を考慮して極力少ない出席者により開催した。

開会に先立ち、出席者と委任状提出者を合わせ684名となり、定足数に達していることが同会者より報告され、武村副会長による開会のことばで通常総会が始まった。最初に令和元年度中に亡くなられた県央支部大澤弘之氏他7名に対し黙祷が行なわれ、続いて柴会長の挨拶。

続いて会員増加表彰が贈られ、優良支部として筑波支部の1支部に、また個人として筑波支部の相澤晴夫氏の他5名へ、さらに長年にわたり本会発展にご尽力頂いた県庁支部小笠原正裕氏ら20名に記念品を添え表彰状が贈られた。

祝電披露の後、柴会長を議長とし議事に入り、令和元年度事業報告と収支決算、令和2年度事業計画(案)と収支予算(案)の他、理事の改選についての議案の5議案を審議し、すべて原案通り全会一致で可決され、最後に高槻副会長の閉会のことばにより閉会となった。

・令和元年度における会員物故者（8名）

□物故者（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

県央支部	大澤 弘之	(平成31年4月)
桜川支部	廣田 拓司	(令和元年8月)
北相馬支部	飯田 俊雄	(令和元年9月)
坂東支部	深津 幸一	(令和元年10月)
北茨城支部	篠原 孝之	(令和元年10月)
結城支部	阿久井 薫	(令和元年12月)
土浦支部	磯部 哲人	(令和元年11月)
筑波支部	市村 正義	(令和2年3月)

敬称略

・令和2年度 表彰者一覧

(1)会員増加優良支部（1支部）

筑波支部

(2)会員増加優良者表彰（6名）

筑波支部	青木 孝二	筑波支部	松田 祐光
筑波支部	山本 剛大	筑波支部	相澤 晴夫
筑波支部	長瀬 行弘	土浦支部	小神野 栄

(3)功労者表彰（20名）

高萩支部	佐藤 新一	皆川 厚臣	富田 義光
日立支部	大塚 廣美	小笠原正裕	櫻村 弘明
県庁支部	遠藤 勝重		
	木村 矩男		
県央支部	埜 万治	小林 要	
行方支部	内堀 勝美		
下妻支部	鈴木 敏男		
結城支部	大島 則之		
坂東支部	倉持 功	滝本 武	大久保正男
北相馬支部	増山 博	上原 正	遠藤 總平
	小磯 俊明		

令和2・3年度新役員一覧

顧問	田所嘉徳	衆議院議員	足立信幸	県庁建築指導課
	高橋靖	水戸市長	諸川博幸	JR水戸設備部施設課
	白田信夫	茨城県議会議員	内芝良吉	(株)鹿島テクノス
	伊沢勝徳	茨城県議会議員	原正樹	(有)原建築事務所
	島田幸三	茨城県議会議員	葛西栄一	(株)カサイ工務店
相談役	滑川浩一	(株)安心確認検査機構	森均	森建築設計事務所
	関根楨一	(株)関根工務店	小林澄夫	繁建築設計事務所
	松山恒男	多賀土木(株)	広瀬元二	(株)広瀬設計
会長	柴和伸	(株)柴建築設計事務所	小貫廣利	小貫建設(株)
副会長	武村実	武村建築設計事務所	児玉鉄司	(株)環境工作室
	高槻一雄	(有)高槻建築設計事務所	稲葉光夫	稲葉建築設計事務所
	川又晴彦	川又晴彦建築設計事務所	豊崎晋也	IBA建築事務所
常務理事	岡田一夫	岡田建築設計事務所	鈴木啓之	(有)アップル建築設計事務所
	久保田吉文	(有)クボタ建築設計事務所	相澤晴夫	(株)相澤建築設計事務所
	潮田充	(株)潮田建設	成田孝成	成田建築設計事務所
	益子一彦	(株)三上建築事務所	早川敏史	(株)早川建築事務所
	中山和朗	(株)中山工務店	小貫弘巳	小貫計画
理事	篠原武司	(株)安心確認検査機構	監事 大内賢一	(株)第一設計
	市川三和子	イチカワ建築設計事務所	小室晶	(有)汎連合設計
	佐藤利雄	日興建設(株)	水口二良	水口・野村法律事務所
	梅原郁夫	梅原材木店	江原秀明	(一財)茨城県建築センター

令和2年度事業計画

基本方針

二級建築士・木造建築士の登録一閲覧事務を担う「県指定登録機関」として、改正建築士法による新たな建築士制度に対応して一級建築士の登録・閲覧事務と併せ適切に遂行するとともに、建築士制度の下、建築士の資質の維持・向上並びに業務改善を推進する。

また、建築行政、関係団体との協力体制の維持並びに地域貢献活動を実施し、公益法人として地域社会の健全な発展に一層寄与することを基本とする。

事業内容

〈建築士の資質の維持・向上に関する事業〉

1. 建築士法第22条第2項による「定期講習」の実施
2. 知事指定講習「建築士会技術講習会」の実施
3. 監理技術者講習の実施
4. 継続能力開発（CPD）制度及び専攻建築士制度の推進
5. 建築士のスキルアップに関する研修・講習会の実施

〈建築士制度等に関する事業〉

1. 一級建築士及び二級・木造建築士登録・閲覧事務の実施
2. 建築士試験業務の受託

〈会員の指導・連絡等に関する事業〉

1. 会員増強活動の実施
2. 会員相互並びに支部との連携強化
3. 会報誌「けんちく茨城」の発刊
4. ホームページ等の活用による情報発信の推進

〈地域貢献活動に関する事業〉

1. 市町村の空き家対策事業への支援
2. 既存住宅状況調査技術者の業務拡大への支援

3. まちづくり事業及び地域貢献活動の実施

4. 緑化推進事業（苗木配布）の推進 〈建築行政との連携に関する事業〉

1. 建築パトロールの実施
2. 応急危険度判定士の更新及び登録事務の実施
3. 災害発生時の支援体制の充実
4. 全国被災建築物応急危険度判定協議会への協力
5. 茨城県安全安心実施計画への協力
6. 木造住宅耐震診断士派遣事業の実施
7. 行政機関及び関係団体との協力体制の維持

〈業務支援に関する事業〉

1. 建築確認申請・建築許可・都市計画法関係諸書式の領布
2. 建築士受験関係図書及び建築関係書籍の販売

〈連合会等との連携に関する事業〉

1. 建築士会全国大会「広島大会」への参加促進
2. 関東甲信越建築士会ブロック会青年協議会「茨城大会」の推進
3. 全国女性建築士連絡協議会「福岡大会」への参加促進

4. 建築士賠償・工事賠償責任補償制度への加入促進

〈調査・研究に関する事業〉

1. 歴史的建造物調査の支援
2. 建築士業務の適正運営の推進
3. 新規事業の企画・立案

〈福利増進・その他の事業〉

1. 国家褒章・連合会表彰等の上申及び功労者表彰の実施
2. 慶弔見舞金の給付
3. 会員レクリエーションの実施
4. その他目的達成のために必要な事業の実施

空家等対策の推進に関する協定締結式

牛

牛久市 茨城県弁護士会 茨城司法書士会 一般社団法人茨城県建築士会

市



報告

牛久市との空家等 対策の推進に関する協定

令和2年3月6日(金)、牛久市と、茨城県建築士会、茨城県弁護士会、茨城司法書士会、茨城県宅地建物取引業協会が、相互に連携・協力して牛久市内の空家等対策の推進を図ることにより、良好な生活環境の保全及び安全で安心なまちづくりの推進に寄与することを目的として「牛久市空家等対策の推進に関する協定書」を締結しました。

今後は、牛久市に寄せられた所有者等の空家等の建築に関わる法律、耐震診断、建物状況調査や改修等に関する相談について、牛久市から相談対応の要請があった場合や、空家等の建築

関係に関する専門的な助言等を求められた場合に協力していくことになります。

過去の経緯としましては、平成30年度牛久市から要請のあった空家等無料相談会実施について、龍ヶ崎支部で協力してきました。しかし、無料相談会以外でも所有者又は近隣住民から空家等に関する権利関係、法的手続きや建築などの専門的な知識を必要とすることから今回、各専門家団体と新たな協定を締結することとなりました。



建築作品紹介

牛久運動公園 武道館

「武道専用施設」で大会開催を望む声

日本発祥の伝統文化であり精神遺産でもある「武道」は、今日世界各国に普及し、年齢性別を問わず広く周知され修練されている。古来より人から人に継承されてきた「武道」の維持・発展を目的とし、武道を通じて幅広く市民が交流できる場所を…、そんな要望が市民や武道団体から施設を求める要望が上がり、市内のスポーツ活動の拠点である牛久運動公園内への建設計画が始まった。

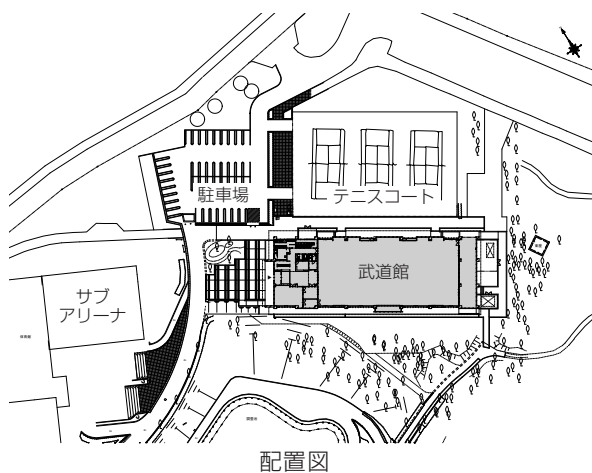
牛久市内だけでも柔道・剣道・空手道・拳正道・少林寺拳法・古武道・杖道など15団体ほどが活動しており、総会員数は400名を超えていて、武道が盛んなことは特筆に値する。基本計画中に前述の団体一つ一つにヒアリングを行い、解った事がある。どの団体も国際大会等で使用されうる公式規格に叶った会場を望んでいる点と、公式大会を開催する力を備えていることである。

周囲の環境にとけこむ武道館

現状では、市内で武道大会を開く場合、既存体育館をメイン会場として使用している事から、体育館東側に隣接させ一体的に運用できる配置計画とした。第74回茨城国体で空手道競技が既存の体育館で開催される予定であったことから、新築する武道館には大会補完施設（練習場及び控室）としての役割を持たせている。

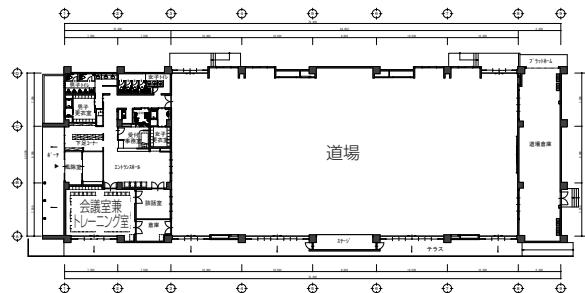
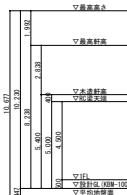
現場は元々高低差のある林であり、南側には調整池がある。建築に必要な部分のみ伐採を行い、極力樹木を残した。周囲は自然に囲まれているため、精神を磨く武道のための施設には極めて適した場所であった。

建物は東西70.0m×南北23.0mの大きさを持ち、道場の有効部分は約49.7m×約22.0mであり、各武道の公式規格を用いた競技場が3面設置可能な空間である。もちろん、各競技場間の安全領域も確保できる。

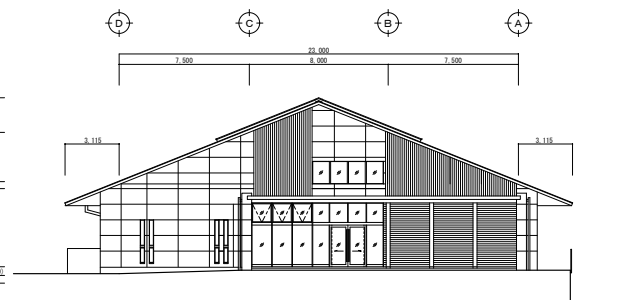


配置図

- 建物概要 / 牛久運動公園 武道館
- 所在地 茨城県牛久市下根町1400番地 (牛久運動公園内)
 - 計画・監修 牛久市 建設部 建築住宅課
 - 設計・監理 株式会社若柳建築事務所
 - 建物用途 武道館
 - 敷地面積 150,000㎡
 - 建築面積 1,962.29㎡
 - 延床面積 1,694.26㎡
 - 構造・規模 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 及び木造 地上1階



平面図



西側立面図

屋根形状はシンプルな切妻屋根とし、軒を深く出すことで日照をコントロールして、空調に係る負荷を抑え省エネルギー化に配慮した。道場内に入る日差しを制限する役割も担い、眩しきの無いフェアな試合を可能とした。建物正面には冠木門をイメージした玄関庇を設置し、和を基調とした風格のある外観となっている。

競技者を温かく見守る道場

主構造は耐久性に優れた鉄筋コンクリート造だが、道場の上部構造は屋根軽量化・意匠性を考慮し、木造と鉄骨造を組み合わせたハイブリッドトラス構造を採用。23.0mスパンの架構を可能としている。土台・母屋からトラスに向かって陸梁（小屋梁）を0.5m間隔で架け渡し、エントランスのシャープなRC

とは対比的に、道場内は木の質感を豊かに表現している。

屋根構成材の各種木部材は全て集成材とし、木造トラス構成材には地場産材のヒノキ集成材を使用した。各木部材の接合は金物やドリフトピンを採用したが、金物や接合部スリットを隠すため埋木処理等を行うなど、意匠性に配慮した。この配慮は現場泣かせだったことはすぐ分かることになったが、仕上がりが素晴らしく、現場の努力と腕に感謝している。

こうして関係者の強い想いをこめた武道館が竣工、週末になると武道に励む声が聞こえてくる。東京オリンピックは2021年に延期となってしまったが、近い将来、牛久市から世界で活躍する日本代表選手が出てくる事を願っている。



エントランスホール



会議室兼トレーニング室

応急危険度判定 コーディネーター訓練に参加して



「訓練概要説明中」

■女性委員会 小貫 弘巳

令和2年1月24日(金)に茨城県立歴史館において開催された応急危険度判定体制の整備を図るための「判定コーディネーター訓練」に参加してきました。

仮想都市せんば市にて地震災害が発生し「地震注意報」が発令されたと想定しての災害図上訓練でしたが、1チーム6人前後で一つのテーブルを囲み、次々とする災害状況報告から被害を予測し、防災拠点、避難所、緊急輸送道路等を書き込んでいきました。

災害が発生して判定活動を実施するにあたり、判定コーディネーターは判定士の受入れ準備や判定業

務の指示、判定資機材の配布に判定結果の取りまとめ等を行っていきます。判定士の指揮・監督等の重要な中心的役割を担うとのことで今回の図上訓練はとても難しかったです。年々、台風や地震等の災害が増えていますが、そのたびに自然災害の怖さを改めて思い知らされます。災害に強いまちづくり、建物づくりを目指し、災害が予想されるエリアについては早い段階で整備を進めていかなければならないと感じました。





「災害図上訓練中」

■ 青年委員会 藤田 康広

令和2年1月24日(金)に茨城県立歴史館の講堂にて開催された「判定コーディネーター訓練」に参加してまいりました。当日は県内ほぼ全ての市町村から職員が参加し、我々建築士会からの参加を含めた68人が訓練に臨みました。

訓練では、仮想都市において大規模な地震災害が発生したという想定の下、地図上で災害対応を体験します。訓練開始とともに、対策本部に設定されたテーブルに次々と都市の被災情報が舞い込んできます。土砂崩れで道路が使用できなくなった、ある地域には多数のけが人がいる、また別の地域では火災が発生した、という具合です。

このような中、判定コーディネーターは、建築士が安全かつ迅速に被災建物の応急危険度判定を実施できるように調整することが役割です。判定士がどのようなルートで、どのような手段で、どれくらいの人数を割り当てるかを計画します。私の班は5名のチームで、当初それぞれ役割を想定するものの、目まぐるしい状況の変化に最終的には様々な役割を兼務することになり、非常にリアリティがある訓練

であると感じました。

また、訓練の合間には昨年の台風被害で実際に災害対応にあたった自治体職員の方から体験談を伺うなど、災害への意識を高められる貴重な一日となりました。

2004年度から実施されているこの訓練により、これまで600人以上の方々を養成しているそうです。しかし、いつどこで起こるか分からない自然災害においては、十分すぎる準備というものは存在しないと思います。建築士会としても、引き続きこのような訓練に積極的に参加すべきであると感じました。



先輩会員 を訪ねて



「還暦を過ぎて」

鈴木 孝和 氏 (桜川支部支部長)

昭和32生まれ／昭和56年入会／会員歴39年

私は昭和51年に工業高校建築科を卒業し、建築設計事務所へ就職しました。22歳の時に2級建築士を取得し23歳で事務所登録をし独立、その際に今は無き西茨城支部の建築士会へ入会をしました。

独立後しばらくは住宅設計や小規模な工場などの確認申請業務が主な業務内容でしたが、設計事務所として生計を立てていくならば1級建築士を取得する必要があると考え、33歳の時に1級建築士を取得しました。現在では皆様も感じているとおり、住宅建築は住宅メーカーが受注の大半を占めており、これから先、地方の個人経営設計事務所は様々な用途の建築物を手がけていく必要があると考えております。建築士会の活動においても、支部をただの会員の集まりでなく、次の世代を育成できるような場にしていきたいと思っております。

私の建築士会の在籍は、旧岩瀬町の時代は西茨城支部、平成の大合併にて桜川市となったのを基に旧真壁支部が桜川支部となり、旧岩瀬町の西茨城支部会員15名と共に2007年4月に編入させて頂きました。私も今年で63歳1級取得から30年の節目となります。



「やらないで後悔より、やっって後悔の方が良い」

鈴木 啓之 氏 (土浦支部相談役)

昭和38年生まれ／平成2年入会／会員歴20年

子供の頃は絵やデザインを描くのが得意であった。市展・県展なども入選するようになり将来はアートな仕事で生活が出来ると思っていた。工作をしている時、2Dより3Dの方の才能があるような気がして、建築なら生活も成り立つかなと思ったのが建築を志したきっかけである。

大学を卒業してまずはゼネコンに入り現場を学ぶ、流通会社に移り店舗開発等で不動産を学ぶ、ハウスメーカーにて設計を学び、設計事務所でも修行したかったが、バブルも崩壊しつつあるので今しかチャンスが無いと思い独立して設計事務所を始める。技術の足りない部分は、日々の業務をこなしながら独学で猛勉強した。苦勞して技術を学んだせいか、分からなくても解決策を編み出すノウハウが身についた。今となっては大きな財産であり、為せば成るである。

仕事も遊びも一生懸命やった。特にアウトドアは命がけてやったせいか、やり切った感があり満足できている。しかし、仕事はまだやり切った感が無いので、もう少し粘って頑張っていきたいと思う。先輩後輩の皆様ご指導のほどよろしくお願ひします。

—後輩へのメッセージ

日々の忙しい業務の中でも、いろいろなものに目を向けてチャレンジしてもらいたい。後になって思うから後悔なのであるが、やっておけば……という後悔はものすごく残念なことと思います。やってしまえば、為せば成るものである。

浄化槽の「ちから」

私たちの使命は、

子供たちが水まみれ泥まみれになって遊ぶ事のできる、
笑顔であふれた小川や水辺を再生する事です。

浄化槽

国内トップのサービスと
豊富なラインナップで
さまざまなニーズに
お応えします

製品開発

合併処理浄化槽の
高度処理化
コンパクト化に成功
世界一の製品力

研究開発

数々の特許を取得
さらなる環境保全に
貢献できる
新製品の研究

地域貢献

水処理技術で
地域の水環境を改善
小容量、省エネルギー
地球環境に優しい浄化槽



茨城エコ事業所
登録No. AA-L 95



美しい水を守る

株式会社 **フジクリーン茨城**

〒311-4164 水戸市谷津町細田1-21 水戸西流通センター内
TEL:029-254-7777 FAX:029-254-7778
<http://www.fujiclean.net/>

Welcome Freshman!!



大類 裕幸 70歳
支部名：筑波支部

- ①大類 裕幸 70歳 筑波支部
- ②空設計室 住宅設計（民家再生）
- ③今まで東京建築士会に在籍していましたが、設計事務所を開設するにあたり、茨城県建築士会に入会いたしました。建築士になって40年以上経ちましたので、フレッシュマンとは言えません。建築は奥が深く、これからは学ぶことが沢山あります。残された時間は少なくなってきましたが、知らないことを知る喜びを味わいたいと思っています。
- ④人と人とのつながりを大切にとの思いで入会いたしました。
- ⑤民家や文化的に価値のある建物の維持、再生、活用や街並みの保存などの活動に参加したいと思います。
- ⑥そこに暮らす家族が幸せになる住まいを設計したいと考えています。

- ①石橋 拓実 30歳 県庁支部
- ②茨城県庁 土木部営繕課
- ③この度入会させて頂いた石橋と申します。建築に関してまだまだ未熟なところが多くありますので、ご指導のほどよろしくお願ひします。
- ④建築士会が企画する講習会等への参加及び交流を目的に入会しました。
- ⑤現場見学会、講習会、交流会等
- ⑥経験や知識を深め、様々な分野に精通した建築士を目指していきたいと思います。



石橋 拓実 30歳
支部名：県庁支部



三輪野 曜 27歳
支部名：県央支部

- ①三輪野 曜 27歳 県央支部
- ②東京の設計事務所に5年務めた後、帰郷し現在は大洗町のハナワ建築設計事務所に勤務しております。職域は主に茨城県内（特に県央地区）ですが、県外の仕事に携わることもあります。
- ③この度弊社社長、塙の紹介で入会させていただきました三輪野と申します。趣味は猫、映画、カフェ巡り、車、バイクです。いずれは趣味も仕事に活かせたらと考えながら楽しんでおります。どうぞよろしくお願ひ致します。
- ④イベントやセミナーへの参加や会員の皆様との交流が出来ればと思い入会に至りました。
- ⑤施工などの体験型セミナーや見学会などがありましたら参加してみたいです。
- ⑥経験とスキルアップを重ね、お客様を始めとする周りの方々に頼られる親切丁寧な建築士を目指します。

- | | |
|--------|----------------------|
| ①氏名・支部 | ④入会の目的 |
| ②勤務先 | ⑤建築士会に期待する活動・参加したい活動 |
| ③自己紹介 | ⑥建築士として将来の目標 |



遠西 雄大 33歳
支部名：県央支部

- ①遠西 雄大 33歳 県央支部
- ②設計事務所勤務
- ③はじめまして。遠西雄大と申します。よろしくお願いいたします。
- ④建築士としての技術向上ため、また、同業者との交流を深めたいと思い、入会しました。
- ⑤講習会等
- ⑥地域に貢献できる設計者になりたいと思います。

- ①大高 葉月 35歳 筑波支部
- ②設計事務所
- ③初めまして、知人の紹介で現在の設計事務所で働かせて頂きそのご縁で入会させて頂きました。よろしくお願いいたします。
- ④建築に関する講習会やセミナーに参加し、知識を深めていきたいです。
- ⑤建築に関するセミナーや講習会、改定される法規などの勉強会、色々な建物の見学会など
- ⑥建築士として一人前になる。
お客様の理想を形にできるような建築士になりたい。



大高 葉月 35歳
支部名：筑波支部



本郷 未帆 28歳
支部名：筑波支部

- ①本郷 未帆 28歳 筑波支部
- ②株式会社 TECHREVO 設計部
- ③私は2019年11月から同社で【電気設備】【機械設備】の設計・積算の業務に携わっています。前職では輸入住宅の建築設計を行っていましたが、知識の幅を広げる為に設備設計の分野に飛び込みました。まだまだ勉強の毎日ですが、人手不足の設備設計の業界で少しでも役に立ちたいと思っております。
- ④建築設計の業界で幅広く交流を持てればと思い、入会しました。
- ⑤講習会や見学会等、是非参加させて頂きたいと思っております。
- ⑥まずは一日でも早く多くの知識を身に付け、様々なご要望にすぐさま応えられるように努力していきたいと思っております。



市民会館（取手市）

■企画・建築設計・監理・調査

人にやさしい建築を...

[株] 若柳建築事務所

〒305-0868 茨城県つくば市台町1丁目8-1

TEL : 029 (886) 8034 FAX : 029 (886) 8035

URL : <http://wakayanagi.co.jp>

雨。
その一滴が、
建物に大敵。

- 業務案内
- 一般建築、中高層ビルに関する防水全般
 - 雨漏り、水漏れ調査及び施工
 - 外壁吹付工事（割れ補修）
 - 各種工事に関するメンテナンス

植田防水工業株式会社

本社：水戸市八幡町10-71 TEL 029 (227) 4181 FAX 029 (225) 3201

<http://www.uedabousui.com>

メールアドレス JDT06321@nifty.ne.jp



HITACHI
Inspire the Next

「人・ビル・社会」に 新たな価値を。

人々が暮らし、働き、憩うビル。エレベーターやエスカレーター、空調、セキュリティシステムなどのビル設備を先進のIoTでつなぎ、人やビルに新たな価値を提供し持続可能な社会を実現します。

 株式会社日立ビルシステム 関東支社

〒310-0011 水戸市三の丸1-4-73 TEL:029-221-5117



常陸秋そばフェスティバル里山フェアに参加して

毎年久慈支部では、常陸太田市で6月に子育てメッセ、11月に常陸秋そばフェスティバル里山フェアの行事に参加しています。常陸秋そばフェスティバルでは各地（県外からも）からそば打ち名人が集まり、腕によりをかけて打ったそばがそれぞれのブースで出されると、殆どのブースに人だかりが出来、中には長蛇の列が出来る所も何ヶ所かありました。久慈支部では飲食のコーナーとは別のコーナーでブースを借りブルーベリーの苗木100株と花の種100袋、それに建築士会のパンフレットを一緒に配布し建築士会のPRを行います。一度梅の苗木を配布しようとしたが残ってしまい苦労したことがあるので今はブルーベリーの苗木にしています。無料配布と言うこともあって早々に無くなるほど今では建築士会のブースを探す人も出てきています。仕事に直接繋がりはしなくても、ブルーベリーの苗木につられてくるにしても建築士会と言う名前のPRには成っているのです。今後も出来れば継続事業として行ければ良いと思います。





豪華賞品を手に参加者全員で記念撮影

県央支部ボウリング大会を開催

■ 県央支部 松下 理

県央支部の年度末恒例行事である青年・女性部主催「ボウリング大会」を、2月21日(金)に水戸の大学ボウルで開催しました。

会員やその仲間の親睦が目的ですが、みんな約1年ぶりとなるボウリングに悪戦苦闘。日ごろ動かさない筋肉を使って、良い汗をかいていました。今年は新型コロナウイルス感染のリスクを避けるためマスクを着用し、ストライクの時も「エアータッチ」で歓喜を表すなど、世相を反映した光景もあり

ました。

ゲーム終了後には成績発表。今年の優勝者は、2ゲーム合計317点のスコアを達成した建築センターの大畠勝さんでした。優勝おめでとうございます。

最後に、会場や景品の準備をしていただいた皆様、そしてご参加いただいた皆様ありがとうございます。初めての方や、お子様などご家族連れも大歓迎ですので、来年も皆さまのご参加をお待ちしております。



始球式で見事ストライク&総合優勝！



「エアータッチ」で喜びを表現



「ノートルダム大聖堂・首里城正殿の 火災から学ぶ文化財の防災」

■ 県央支部 石川 啓司

2月13日(木)夕方36名の参加、県総合福祉会館研修室にて、第102回目となる県央支部建築セミナーが催された。講師は後藤治人氏（工学院大学 理事長 総合研究所教授・工学博士）。経歴は以下の通り。

1984年東京大学工学部建築学科 卒業

1988年同、大学院建築学専攻博士課程 中退

1988年文化庁文化財保護部建造物課文部技官

1995年同、文化財調査官

1999年工学院大学建築都市デザイン学科助教授

2005年同教授 その後理事長に就任。

昨年は、パリのノートルダム大聖堂、沖縄の首里城正殿という二つの世界文化遺産を構成する建造物が焼失した。文化財の火災は防げなかったか？注目されるのはノートルダム寺院は工事中、首里城はイベント中であったこと。それぞれ火災規模が大きく、対応が困難。ただ、木造小屋組みの火災に対してパリ消防は懸命な消火活動で寺院の貴重な文化財を救出、鐘楼などへの延焼を食い止め、作戦は成功している。一方首里城火災は復元建物であるためスプリンクラーを始め文化財防災体制が取れていなかった。更に首里城は城山であり現場に消防車両が近寄れなかった。注目すべき火災の原因について振り返る。

2016年東京デザインウィーク・イベント火災、2014年グラスゴー美術学校火災、1949年法隆寺火災とイベント時無人の状態に発生。電気火災対策が重要であると氏は強調。さらに火災が拡大した原因を考えると、火災の感知と通報が重要であると指摘された。無人となる夜間の管理と警備会社。初期

消火の重要性。自動火災報知設備については、熱感知器より有効な煙感知器を採用すべき。教会堂の小屋裏でも最頂部に取り付けられず、小屋裏隔壁が考えられていなかった点について指摘された。感知器も消防設備として安易に取り付けやすいところではなく煙感知器であれば棟の最頂部に取り付ける。文化財の修復に合わせて、消防設備のスプリンクラーや送水管などを目立たないように仕組んでおく。さらに、火災の原因（失火・延焼・放火等）想定し、どこがどのように危ないのかを把握する。早期発見・通報、美術品をを含めた安全な避難。所有者や自主防災組織による初期消火。公設消防や水利、アクセス。火災発生を想定した防災訓練、さらに効果的な設備の設置や建築上の工夫など、一般の方が入る建築物では消防法により、消防計画や防火管理者の配置が義務付けられるが、文化財を救うことを念頭に防火計画も建築士が立案すべきと説かれた。また全米防火協会：National Fire Protection Association（NFPA）にも言及され、日本にも必要性を説かれた。質疑応答では、自ら率いる研究グループが伝統木造建造を火災から守る「ねばねば」水と無機物を混ぜた粘度が高い液体を利用し、かやぶき屋根など伝統的建造物の火事を初期消火できる試作機の開発についての説明をいただいた。



ベンチデザイン募集・第2弾 ～土浦のまちに置くベンチ

土浦のまちづくり活性化バス「キララちゃん」のバス停に設置するデザインを募集したところ、計30点の応募があり、最優秀賞1点、優秀賞3点を選定しました。

最優秀賞については令和2年度に製作を行います。

今回の企画は12年ぶりに行われ第2回目となります。第1回目に作ったベンチはメンテナンスを行いながら、現在も土浦駅東口に設置されています。

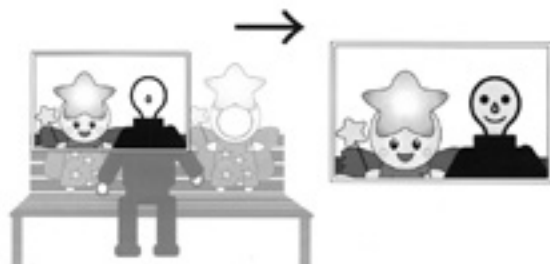
高齢化社会を迎えている現在、バス待ち環境の改善は喫緊の課題であり、小さなことでも街に貢献したいというのが今回の企画の目的です。

最優秀賞



優秀賞

キララちゃんと撮影も出来る三人掛けベンチ



優秀賞



優秀賞



筑波支部活動

令和の時代が始まり1年を迎えようとしております、筑波支部においては委員会制度を立ち上げてから2年が過ぎようとしております。

各委員会がつかまり歩きから、ヨチヨチ歩きを始めた状況になり大変うれしく思います。特に女性部会の立ち上げについては少数のたくましい方々がお子様同伴での楽しい企画を実施しほほえましい姿が印象的であり、今後の躍進が一番期待できる委員会と思います。

研修委員会については、落日荘の岩崎俊介先生と協力の研修を4回シリーズで行なえた事やその他にも質の高い研修会が実行されたこと、つくば市都市計画課の協力を得ながらの研修会と非常に印象に残った研修委員会でした。

当支部の中でも今年度の一番の活躍者は会員委員会であり、支部会員の皆さまでした。一年前は138名の会員数でしたが、3月末は154名に16名の拡大と大躍進です。県内でもトップの増加率であり、2年続けての躍進に対し、筑波支部会員の皆様に心より御礼を申しあげ支部報告とさせていただきます。会員増強、誠にありがとうございました。



女子部会企画の「内食堂～サツマイモのお菓子作り」



「つくば市都市計画課の協力を得ながらの研修会」



「わくわくセミナー企画会&新年会」

■土浦支部 小林 明江

令和2年1月27日(月)、つくば市吉瀬の森の中にある「森のキッチンととや」で新年会を兼ねたわくわくセミナー企画会を開催致しました。

参加者が17名と皆様にご協力を頂き、浜中委員長も参加して頂きとても和やかな令和2年度の幕開けとなりました。

2年度の企画内容は沢山の意見が出揃い選別する結果となりましたが、無事に担当者も決まり一安心です。

新会員、現会員からそれぞれの自己紹介や近況報告を発表して頂き、浜中委員長より今年度の事業報告や2年度の予定行事等の説明を受けました。

暖炉の灯とログハウスの中でのお食事はまるで軽井沢に居るような錯覚を覚えました。お洒落な食事とデザートは女性のハートを奪うのでしょうか。雰囲気大切さを改めて感じました。

会食中の皆様は会話がはずみ、素敵な笑顔も溢れ和やかな楽しい時間はあっという間に過ぎとても有意義な会でした。



「パソコン・IT・ホームページ講座」

■土浦支部 西原 有希子

2月15日(土)土浦市三中地区公民館にて、わくわくセミナー『パソコン・IT・ホームページ講座』を開催しました。

IT活用サポートサービスNewsa代表 関口暁美氏をお招き致しました。

関口先生自身は文系の大学を出て、SEの仕事をされてきた経緯をお持ちだという事もあり、いろんな疑問を苦勞して解決されてきたとの事なので、ITの事が苦手な方にも非常にわかりやすく説明していただきました。ITの進歩は便利に、かつ簡単に操作できるようになっているにもかかわらず、私たちは、その仕組みを理解せず使用していることが多く、何を比べ、何を選択し、どういうメリットデメリットがあるのか考えることなく使用しています。それが続いていくと、いつか大きな落とし穴に出会ってしまうかもしれない。そんなことを強く感じました。

具体的には、ブラウザに保存されているパスワードは、2クリックでパスワードの一覧表を見ることができるとの事。この事実はノートパソコンを安易



に他人に貸してはいけない、もしくはパスワードの管理方法を別に設ける必要があると強く感じました。

講座を通じて、感じたことは、自分で出来る事、自分で防衛できること、自分から発信できることがたくさんある事がわかり、私もすぐに実践できました。

また、定期的にこういった講義は受けたいです。



女性委員会（ラブアークセミナー）



「令和2年度 ラブアークセミナー企画会 開催」

■ 県央支部 中崎 妙子

今年度のラブアークセミナー企画会が、去る1月29日(休)に行われました。

例年どおり楽しくワクワクの雰囲気、皆さん食べて、飲んで、大いに語り合うことが出来、時間を過ごすこととなりました。日頃のお仕事内容の悩み、相談事、或いは、生活の中での思い等、多種多様のお話が大変盛り上がり、あっという間の時をすごし

ました。

今現在、新型コロナウイルス、が蔓延している中での皆さんへのご報告文を、書いておりますが、今回の会報誌がお手元に届くころには収束していることを、大変願っております。どうぞご自愛くださいます様、お願い致します。

茨城県西地域の未来を創造する

軽部建築設計事務所

〒304-0061 茨城県下妻市下妻丙47番地

TEL 0296-44-3380 FAX 0296-44-5643

E-Mail : karube@karube-ao.com

Home-Page URL: www.karube-ao.com

建築設計・監理 耐震補強 特殊建築物定期報告

Architectural Design



株式会社 相澤建築設計事務所

代表取締役 相澤 晴夫

〒300-1256 茨城県つくば市森の里1169-2

TEL：029-876-0617 FAX：029-876-0679

E-mail：info@aizawa-arc.co.jp

URL：http://aizawa-sekkei.com/

営業品目

コンクリート二次製品全般

函渠型側溝フリードレーン
大型積ブロック
浮上防止型グレーチング

公園資材

防災用かまど
防災用ベンチ
防災用シェルター
インターロッキングブロック
遊具一式

下水道用製品

耐震性スーパー BOX カルバート
アーチカルバート
ヒューム管カーブ用推進管
マンホール鉄蓋

建築資材

PHC パイル
地盤改良材



汚染土の仮置場処理対策製品
土木建築資材の総合商社

株式会社 建友

代表取締役 根本 勇 専務取締役 根本 学

本社 茨城県水戸市吉沢町 333-4 電話 (029) 247-8405 (代表) FAX (029) 248-0155
支店 茨城県鉾田市造谷 1529-99 電話 (0291) 37-1335 FAX (0291) 37-1335

E-mail:office@k-kenyu.co.jp

空気調和・衛生設備・設計施工

＜水と空気のパイオニア＞



清和工業株式会社

代表取締役 岡 衆司

本社 ■水戸市東野町140-4 TEL029-248-2413

日立営業所 ■日立市東多賀町2-10-40 TEL0294-36-0481

土浦営業所 ■土浦市中貫1911 TEL029-832-4780

<http://www.seiwakogyo-web.co.jp>

建設
KENSETSU
未来
通信

茨城県内の建設情報を網羅した『建設総合紙』

新聞購読料 / 月額

電子版 / 月額1,500円(税別)

5,500円(税別)

年内無料

※2023年3月末までの3年間限定。

※2020年12月の最終発行日まで。

〒310-0852 茨城県水戸市笠原町1523-3 桂ビル2階(県庁正面近く)
TEL 029-291-8855 FAX 029-291-8854
ホームページ <https://www.kensetsumirai.co.jp>

和知商事株式会社

ALC・杭・地盤改良・耐火被覆・金属屋根・OAフロアー・パーティション・
スポーツ弾性塩ビシート・雨水貯留・壁面緑化・インターロッキング・平板



URL <http://www.wachisyouji.co.jp>

————— 本 社 —————

〒310-0013 水戸市若宮1丁目2番7号
TEL(029)224-6361(代) FAX(029)224-6504

————— つくば営業所 —————

〒300-0051 土浦市真鍋1-14-17 オクイビル3F
TEL(029)869-6722 FAX(029)869-6723

建築・土木・開発・設計・施工

一級建築士事務所

株式会社 潮田建設

〒300-2615 茨城県つくば市田倉5254-14

TEL (029) 847-2169 (代)

FAX (029) 847-5268

■企画・設計・監理



株式会社 **戸頃建築設計事務所**

代表取締役 小川 憲一

〒310-0043 水戸市松が丘1-2-23

TEL:029-226-4869(代) FAX:029-226-4894

E-mail : tokoro@mbb.nifty.com



TAKAHASHI

高橋商事 株式会社

代表取締役 高橋 正光

■本 社

〒311-1115 茨城県水戸市大串町952-4番地

TEL.(029) 269-3066(代) FAX.(029) 269-4130

■営業所 大洗インターSS (LPG 事業所)

〒311-1115 茨城県水戸市大串町957-1番地

TEL.(029) 269-2135 FAX.(029) 269-5577

—— 営業御案内 ——

工 事 部

- ・上・下水道工事設計施工
- ・給排水衛生空調設備工事設計施工
- ・合併処理浄化槽工事設計施工
- ・機械器具設置工事設計施工
- ・土木・舗装工事設計施工

石 油 部

- ・石油製品販売
昭和シェル石油(株)販売店
- ・各種損害保険取扱
(株)損保ジャパン代理店

LPG部

- ・LPガス販売
- ・ガス関連商品販売
- ・ガス設備工事設計施工

有限会社 クボタ建築設計事務所

代表取締役
一級建築士 久保田 吉文

事務所 〒315-0001 石岡市石岡3055-9
TEL 0299-23-9305 FAX 0299-23-9307
E-mail : info@kubota-sekkei.co.jp URL <http://kubota-sekkei.co.jp>

初心者からの乗馬
東海馬事苑

安心とくつろぎをお届けする
有限会社 亜細亜警備保障
〈施設、イベント、駐車場、交通誘導〉

代表取締役
尾崎 嗣朗

本 社 那珂郡東海村舟石川845-4
〒319-1111 TEL 029-282-7056 (代)
FAX 029-282-7017
E-mail:asia_keibi-bajien@eos.ocn.ne.jp

人とふれあう豊かな街づくり



DAIICHI
SEKKEI

株式
会社

第一設計

【本 社】〒312-0024 ひたちなか市勝倉 2671-1

【大平事務所】〒312-0023 ひたちなか市大平 3-5-3

TEL : 029-274-3056 FAX : 029-274-4604 E-MAIL : daiichi@intio.or.jp

URL : <http://www.daiichi-design.jp>

代表取締役 大内 賢一

創業330年の実績 安全・安心・快適な住空間をご提案



株式会社 奈良屋

代表取締役会長 市橋 弘光

代表取締役社長 市橋 薫

〒310-0852 茨城県水戸市笠原町600-15
TEL.029-241-5141 FAX.029-305-8733 <http://www.naraya-corp.co.jp>



設計 & 監理

株式会社 柴 建築設計事務所

水戸市泉町3-1-28 第二中央ビル7階

TEL.029-227-0222 [代]

FAX.029-231-0960



一般社団法人
茨城県建築士会